

はじめに

鹿児島県は、南北約600キロメートルにも及ぶ広大な県土に、多くの島々や長い海岸線を有し、日本で初めて国立公園に指定された霧島や世界自然遺産の屋久島、世界的にも貴重な動植物を有する奄美群島、毎年1万羽以上が渡来する特別天然記念物「ツル」など、特色ある自然に恵まれており、ふるさと鹿児島のかげがえのないすばらしい環境を守り、育て、将来の世代に継承していくことは、現代に生きる私たちの使命であります。

このため、県においては、「かごしま未来創造ビジョン」、「県環境基本計画」等を踏まえ、地球環境を守る低炭素社会づくりや環境負荷が低減される循環型社会の形成、自然と共生する地域社会づくりを目指し、環境の保全及び形成に向けて各般の施策を総合的かつ計画的に推進しています。

具体的には、地球環境を守る低炭素社会づくりについては、県民、事業者、行政が一体となった「地球環境を守るかごしま県民運動推進大会」を開催し、地球温暖化に対する意識の普及啓発を図るとともに、「県地球温暖化対策実行計画」に基づき、温室効果ガス排出削減、気候変動の影響への適応のための取組や二酸化炭素排出量を森林整備による吸収量で埋め合わせる取組などを進めています。

また、環境負荷が低減される循環型社会の形成については、県民自らがごみの排出者であることを認識し、マイバッグの持参、食品の食べきり・使いきりなどライフスタイルの一層の見直しの促進やリサイクル製品の使用などによる廃棄物の排出抑制、減量化などの推進を図るとともに、公共関与による産業廃棄物管理型最終処分場「エコパークかごしま」の安心・安全を第一とした施設運営を図ってまいります。

さらに、自然と共生する地域社会づくりについては、令和2年夏の奄美の世界自然遺産登録に向けて、国、沖縄県、地元市町村、関係団体等とも連携を図りながら、これまで実施してきた世界自然遺産としての価値の維持、自然環境の保全と利用の両立、地域の気運醸成を推進しているところです。

今後とも、時代の変化に的確に対応しながら、「鹿児島に生まれてよかった。鹿児島に住んでよかった。」そう思える鹿児島を目指して、全力を挙げて取り組んでまいります。

この白書は、平成30年度における本県の環境の現状と施策の内容や成果を取りまとめたものであり、この白書が、県民の皆様の環境に対する関心と理解を深め、環境保全に向けた取組の参考となれば幸いです。

令和元年12月

鹿児島県知事

三反園訓